
2023年度決算 及び
2024年度業績見通し

説明資料

帝人株式会社

2024年5月13日

1. 2023年度決算
2. 2024年度業績見通し
3. 参考資料
 - ✓ IFRSの任意適用について
 - ✓ 前提（市場動向、損益影響要因）
 - ✓ 2023年度決算データ
 - ✓ 2024年度業績見通しデータ
 - ✓ 主要医薬品 国内売上高実績推移
 - ✓ 非財務情報 ESG外部評価

見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

当資料に含まれている医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2024年5月13日11時30分に公表した弊社決算に基づくものです。

1. 2023年度決算

- ✓ 実績サマリー
- ✓ セグメント別営業利益増減分析
- ✓ 営業外損益
- ✓ 特別損益
- ✓ 財政状況、キャッシュ・フローの状況
- ✓ 収益性改善に向けた改革の結果

◆実績サマリー（前年度対比、前回見通し対比）

■営業利益

<前年度対比> 増益：医薬品導入一時金や医薬品「フェブリク」の後発品参入影響を上回る複合成形材料・アラミドにおける「収益性改善に向けた改革」の施策効果（販売価格改定、原燃料価格安定化、コスト削減等）発現等

<前回見通し*1対比> 減益：マテリアルにおける一部用途での需要減およびヘルスケアのライセンス対価収入の一部遅延等

■親会社株主に帰属する当期純利益

<前年度対比> 増益：前期は複合成形材料での減損損失計上

<前回見通し*1対比> 増益：投資有価証券の売却益計上

	22年度	23年度	差異	増減率	(億円) (参考) 23年度見通し*1
売上高	10,188	10,328	+140	+1.4%	10,300
営業利益	129	135	+7	+5.3%	180
経常利益	91	156	+65	+71.0%	190
税金等調整前当期純利益	-15	284	+299	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-177	106	+283	-	80
ROE *2	-4.1%	2.4%	+6.5%	-	2%
営業利益ROIC *3	1.6%	1.6%	+0.0%	-	2%
EBITDA *4	878	924	+46	+5.3%	960
設備投資 *5	625	669	+44	+7.1%	650
減価償却費 *6	749	789	+40	+5.3%	780
研究開発費	319	426	+106	+33.3%	430

2023年度配当金（見通し*1から変更なし）

中間 15円/株 期末 15円/株 年間 30円/株

(2022年度：中間 27.5円/株 期末12.5円/株 年間40円/株)

◇為替・市況燃料価格

	22年度	23年度	
PL換算レート	円/米ドル	135	145
	円/ユーロ	141	157
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)	92	82	
欧州天然ガス価格 (ユーロ/MWh)	116	35	

*1 2024年2月8日公表

*2 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

3 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出
（*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金）

*4 「営業利益 + 減価償却費（のれんを含む）」にて算出

*5 設備投資には無形固定資産の取得を含む（M&Aは含まず）

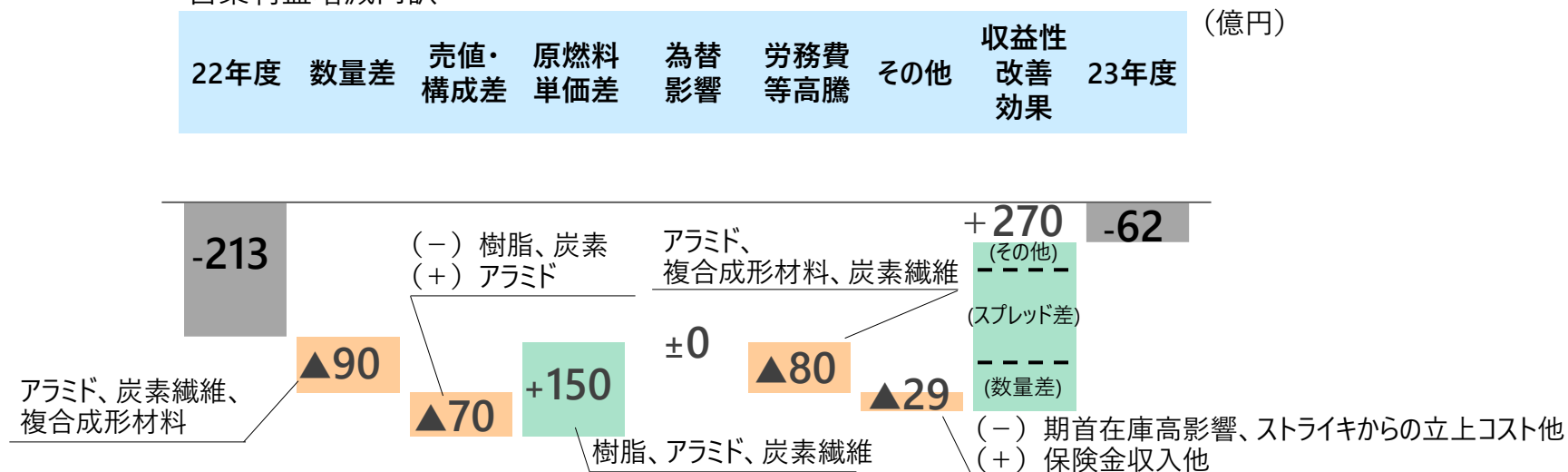
*6 のれん償却含む

◆ 営業利益セグメント分析 マテリアル（前年度対比）

◆ 売上高：4,397億円（前年度*1比+10億円）、営業利益：-62億円（前年度*1比+151億円）

- アラミド・複合成形材料の収益性改善効果やアラミドの前年度の火災事故に対する保険金収入等が、樹脂を除く各事業での販売量減少等をカバーし増益

< 営業利益増減内訳 >



営業利益増減要因

	アラミド	樹脂	炭素繊維	複合成形材料
(+)	<ul style="list-style-type: none"> 収益性改善効果発現 天然ガス価格安定化等 販売価格改定 保険金収入 	—	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 航空機用途で若干の販売増 	<ul style="list-style-type: none"> 収益性改善効果発現*2 販売価格改定やコスト削減等
(-)	<ul style="list-style-type: none"> 販売量減少 特殊補修部品の調達遅れ、サプライチェーンでの在庫調整等 	<ul style="list-style-type: none"> 販売構成悪化 付加価値品の需要減 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量減少 レクリエーション用途等におけるサプライチェーンでの在庫調整等 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量減少 一部プログラムでの需要減、ストライキ影響

*1 2023年度より新事業組織について、「マテリアル」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2022年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値としている

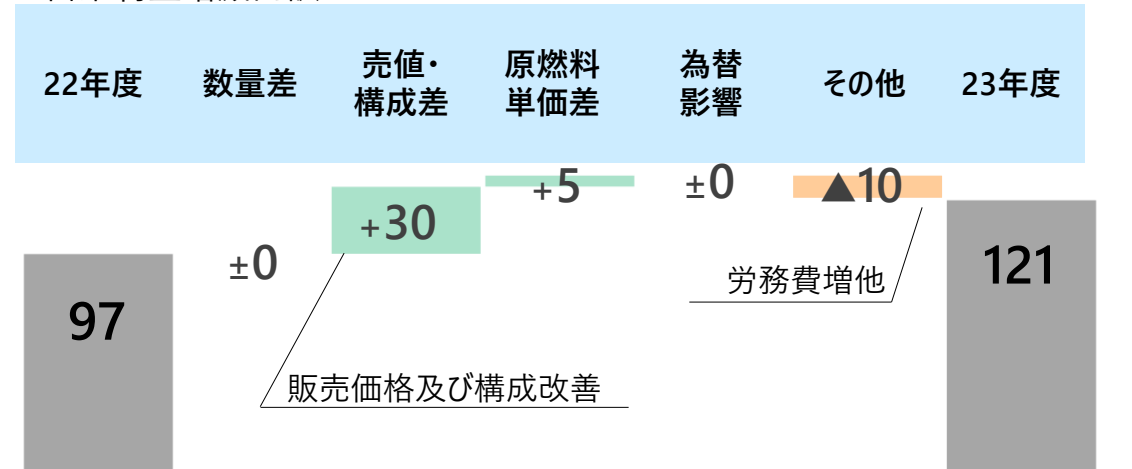
*2 収益性改善計画で織り込んでいた一時要因からの復旧効果は減少（詳細はP11に記載）

◆ 営業利益セグメント分析 繊維・製品、ヘルスケア（前年度対比）

◆ 繊維・製品 売上高：3,215億円（前年度比▲6億円）
 営業利益：121億円（前年度比+25億円）

- 衣料繊維分野および産業資材分野で一部用途を除いて販売好調

< 営業利益増減内訳 > (億円)

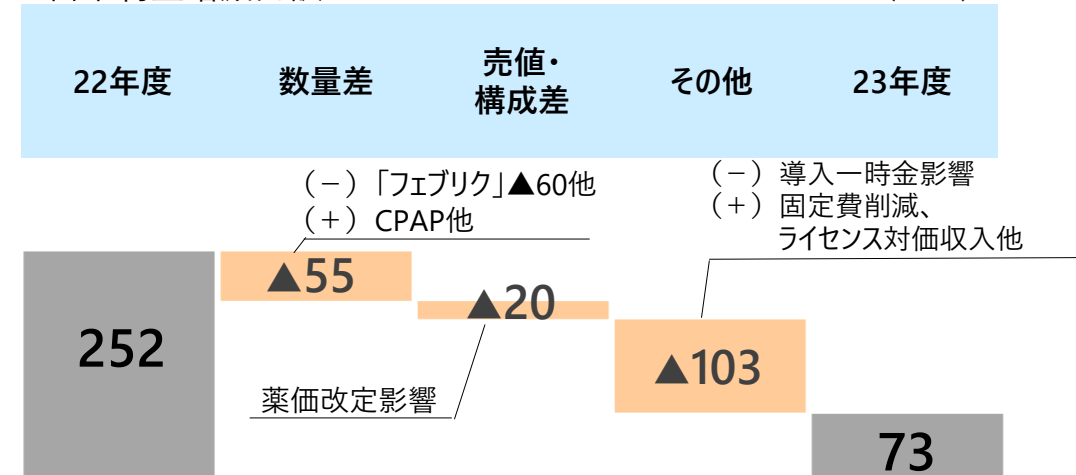


営業利益増減要因	
(+)	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格改定および販売構成改善 販売量増加 (衣料繊維分野)北米や中国向けテキスタイル・衣料品、国内向け衣料品 (産業資材分野)水処理フィルター向けポリエステル短繊維、人工皮革、インフラ補強材
(-)	<ul style="list-style-type: none"> 労務費増等 販売量減少 (衣料繊維分野)欧州向けテキスタイル (産業資材分野)自動車関連の一部用途

◆ ヘルスケア 売上高：1,447億円（前年度*1比▲59億円）
 営業利益：73億円（前年度*1比▲178億円）

- 医療機器はレンタル好調も、医薬品導入一時金および医薬品「フェブリク」の後発品参入影響が大きく減益

< 営業利益増減内訳 > (億円)



営業利益増減要因	
(+)	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器レンタル台数増加 (CPAP)検査数回復基調によるレンタル台数増加 固定費削減（2025年度目標50億円の約半分達成） ライセンス対価収入
(-)	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品導入一時金 ホルモン治療薬のライセンス契約一時金 70百万ドルを計上 「フェブリク」後発品参入による販売量減少 薬価改定による影響

*1 2023年度より新事業組織について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2022年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値としている

◆ 営業利益セグメント分析 IT、その他（前年度対比）

◆ IT 売上高：721億円（前年度比+140億円）、営業利益：95億円（前年度比+14億円）

■ ネットビジネス分野販売好調、ITサービス分野販売堅調

営業利益増減要因	
(+)	<ul style="list-style-type: none"> 販売好調 (ネットビジネス分野)電子コミックサービスにおいて効果的な広告投資を継続し販売好調 (ITサービス分野)病院向けを中心に堅調
(-)	—

◆ その他 売上高：548億円（前年度*1比+55億円）、営業利益：-8億円（前年度*1比+8億円）

■ 電池部材分野、埋込医療機器分野で販売好調

営業利益増減要因	
(+)	<ul style="list-style-type: none"> 電池部材分野、埋込医療機器分野で販売好調 (電池部材分野)リチウムイオンバッテリー用セパレータ及び高機能メンブレンが好調な販売を継続 (埋込医療機器分野)販売量は堅調に推移 (再生医療分野)J-TEC*2は概ね堅調に推移
(-)	<ul style="list-style-type: none"> 再生医療分野でのCDMO*3事業立ち上げに伴うコスト増 等

*1 2023年度より新事業組織について、「マテリアル」、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2022年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値としている

*2 (株) ジャパン・ティッシュエンジニアリング *3 Contract Development and Manufacturing Organization 製品の開発・製造を受託する機関

◆ 営業外損益（前年度対比）

- 米欧の金利上昇による支払利息増も、持分法による投資利益の増加等の影響で前期対比増益

(億円)

	22年度	23年度	差異
受取利息	13	26	+14
受取配当金	13	11	-2
持分法による投資利益	-	73 ^{*1}	+73
デリバティブ評価益	56	92	+35
その他	10	14	+4
営業外収益 計	92	217	+125
支払利息	71	108	+37
持分法による投資損失	11	-	-11
為替差損	30	62	+31
デリバティブ評価損	1	10	+8
その他	16	17	+1
営業外費用 計	129	197	+67
営業外損益 計	-38	20	+58

*1 ブラジルの子会社における訴訟解決に伴う補償金含む

◆特別損益（前年度対比）

- 中国の複合成形材料子会社株式の売却損計上も、前期の米国複合成形材料ののれん減損損失計上、投資有価証券の売却益やアラミドの前年度の火災事故に対する保険金収入の計上等により前期対比増益

(億円)

	22年度	23年度	差異
固定資産売却益	59	3	-55
投資有価証券売却益	55	186	+131
減損損失戻入益	23	-	-23
受取保険金	-	71 ^{*2}	+71
その他	2	21	+19
特別利益 計	139	282	+142
固定資産除売却損	18	15	-3
投資有価証券評価損	37	4	-33
減損損失	169 ^{*1}	31	-138
関係会社株式売却損	-	69 ^{*3}	+69
災害による損失	10	17	+7
その他	11	18	+7
特別損失 計	245	153	-92
特別損益 計	-106	128	+234

*1 TAT-US社に関するのれんに係る減損損失154億円他

*2 アラミド事業の前年度の火災事故に対する保険金収入
(保険金収入については以下の通り計上
営業利益：60億円、特別利益：71億円)

*3 複合成形材料の中国事業撤退に伴う損失

◆ 財政状況（前年度末対比）、キャッシュフローの状況（前年度対比）

◆ 財政状況

- 主に為替影響により総資産増加
- 棚卸資産については、為替影響のほか、アラミドの火災からの復旧による在庫形成等で前年度末対比増加

	(億円)			
	23年 3月末	24年 3月末	差異	内 為替 換算影響
総資産	12,424	12,510	+86	+607
負債	7,913	7,691	-223	+251
(内 有利子負債)	5,294	4,989	-305	+169
純資産	4,511	4,819	+308	+355
D/Eレシオ ^{*1}	1.25	1.10	-0.15	-
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*2}	1.10	0.97	-0.13	-

< 総資産増減内訳 >

	(億円)		
	23年 3月末	24年 3月末	差異
総資産	12,424	12,510	+86
現金及び預金	1,428	1,259	-169
売上債権 ^{*3}	1,865	2,032	+168
棚卸資産	1,967	2,312	+344
固定資産	5,084	5,153	+69
投資有価証券	821	682	-139
その他	1,259	1,072	-187

◆ キャッシュフローの状況

- 税引前利益の増加や受取保険金等により、営業活動によるキャッシュフローが増加（収入増）
- 設備投資額増加も、投資有価証券の売却収入等により、投資活動によるキャッシュフローが減少（支出減）
- 長期借入金の返済等により、財務活動によるキャッシュフローが減少（支出増）

	(億円)		
	22年度	23年度	差異
営業活動	551	695	+144
投資活動	-524	-461	+64
フリー・キャッシュ・フロー	27	234	+207
財務活動他	70	-401	-471
現金及び現金同等物増減	96	-167	-264

< BS換算レート >

	23年	24年
	3月末	3月末
円／米ドル	134	151
円／ユーロ	146	163

*1 「有利子負債÷自己資本」にて算出（グロス表示）

*2 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

*3 契約資産含む

◆収益性改善に向けた改革の結果

収益性改善に向けた改革の結果

帝人グループ 収益性改善に向けた改革（2023年2月公表）

【2023年2月公表内容】

- 課題事業の収益性改善と役員・スタッフの経営体制変革を中心に、全社で構造改革を断行する
- これらの成果として、2023年度までに 300億円以上の収益改善を目指す

【結果】

- 300億円以上としていた課題事業の収益性改善は概ね達成（複合成形材料、アラミドの効果額に加え、ヘルスケアの固定費削減効果の前倒し発現含む）
- ただし、生産安定化に課題を残す（複合成形材料、アラミド）

◆ 収益性改善に向けた改革の結果 複合成形材料

■ 達成状況：大幅未達

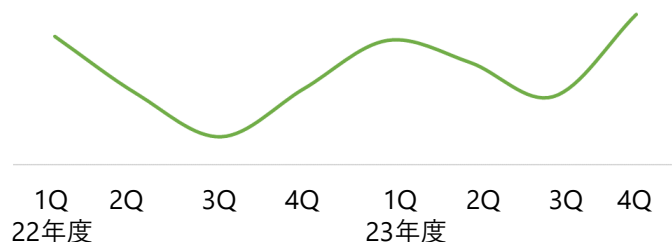
北米での収益性改善策		改善アクション概要	計画 (億円)	実績 (億円)	
①一時要因からの復旧		● 設備故障からの復旧および安定稼働	60	5	一部工場における設備老朽化による故障対応を実施し、第4四半期に改善傾向がみられるも、依然安定生産に課題が残る
②収益性改善策	販売	● 低採算プログラム撤退 ● 原材料費以外の増分コストの価格転嫁再交渉	50	130	概ね計画通り達成
	購買	● サプライヤー交渉/変更、提案依頼・入札プロセス見直し ● 購買集中化	15		
	生産	● ベストプラクティスの横展開、在庫・物流最適化 ● キャパシティ有効活用を目的とした拠点統合、部分撤退	65		
2023年度収益性改善額計 (①+②)			190	135 ^{*1}	
③選択と集中		● 欧州・中国・日本の拠点は売却や撤収も視野に入れ、選択と集中を行う		5	中国事業からの早期撤収に加え、国内子会社 ^{*2} の譲渡完了

*1 中国事業の早期撤収影響込みでは140億円の改善達成

*2 株式会社ジーエイチクラフト

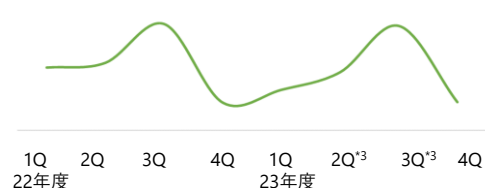
● 営業利益推移

24年2月・3月単月でEBITDA黒字化達成

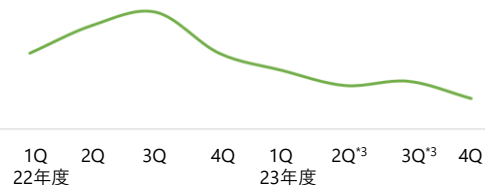


● モニタリング項目 (例) 推移

労務費比率 (労務費/売上高)

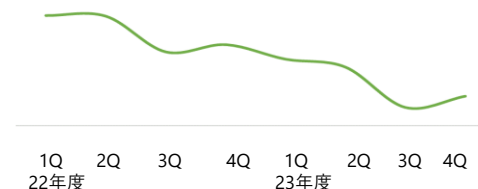


労務費比率 (直接労務費/売上高)

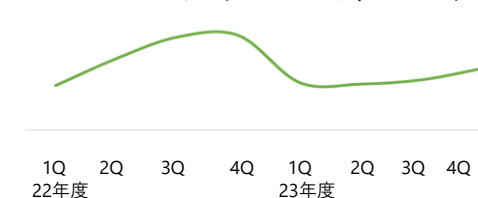


*3 一部ストライキ影響による悪化含む

離職率 (離職者数/従業員数)



スクラップ率 (スクラップ額/売上高)



◆ 収益性改善に向けた改革の結果 複合成形材料

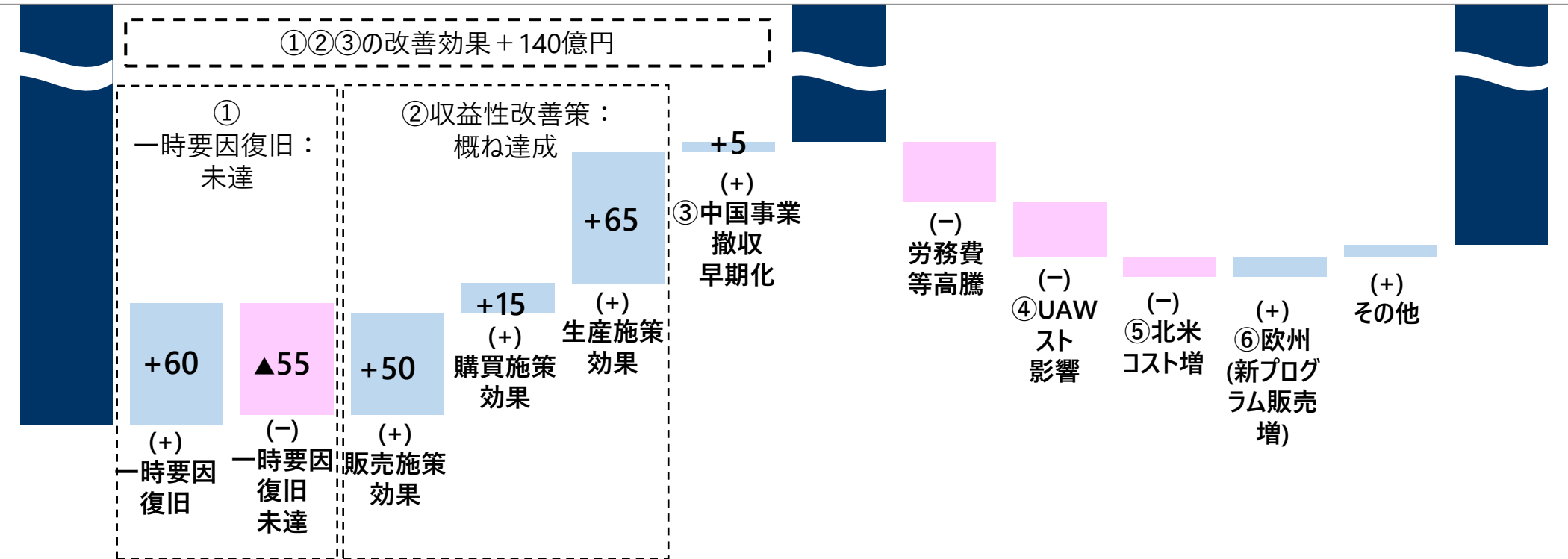
■ 営業利益イメージ

2022年度

収益性改善効果

2023年度

(億円)



①：一時的要因からの復旧（効果額：60億円）は未達

②：130項目の収益性改善策（効果額：130億円）は概ね達成

③：中国事業からの撤収タイミング早期化（24年3月予定→23年12月実施）による赤字軽減

④：UAWのストライキによる販売量減と立上げコスト増影響

⑤：昨年度発生した品質問題に対する補償費用や、工程安定化のための外部エンジニアリング委託費用による計画外のコスト増

⑥：欧州拠点での新プログラムの生産対応及び価格改定効果による販売増

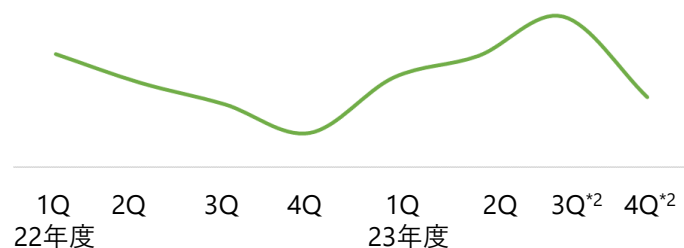
◆ 収益性改善に向けた改革の結果 アラミド

■ 達成状況：計画を上回る達成（ただし保全体制の改善が遅延）

収益性改善策		改善アクション概要	計画 (億円)	実績 (億円)	
①一時要因からの復旧		● 工場火災影響からの回復	70	40	2022年度中に一部前倒し回復
②収益性改善策	天然ガス価格高騰	● 欧州域外からの原料調達、生産拠点分散検討 ● 調達価格の安定化（先物予約の実行等）	70	90	<ul style="list-style-type: none"> ● 天然ガス価格の先物予約による安定化が計画を上回る達成 ● 特殊補修部品管理を含む保全体制の改善遅延が生産安定化に影響も、第4四半期には解消
	生産性改善	● 既増設ラインの生産安定化 ● 紡糸工程を中心とした更なる自動化・デジタル化による生産革新			
	増産/増販	● 設備能力増強の効果を早期に発現			
		2023年度収益性改善額計 (①+②)	140 (110 ^{*1})	130	前倒しを除いた計画額110億円に対して130億円の達成額

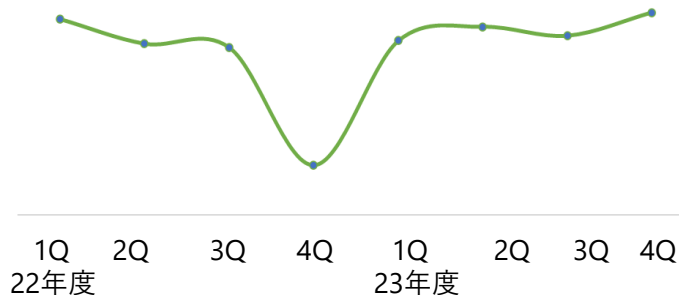
*1 2022年度の前倒し発現分除き

● 営業利益推移

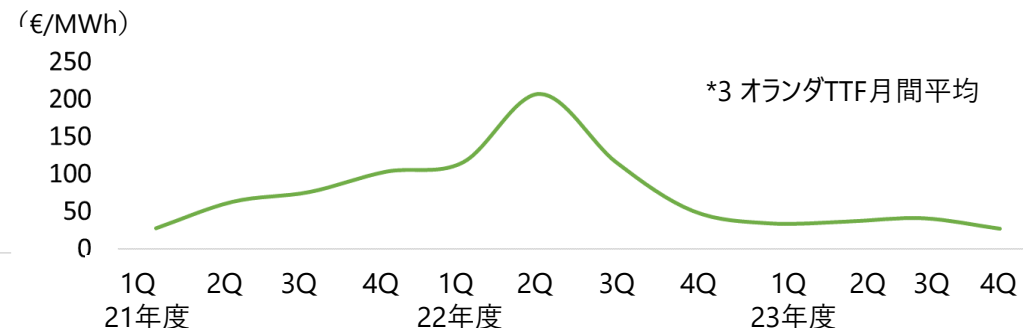


*2 火災に対する保険金収入含む

● 生産量推移



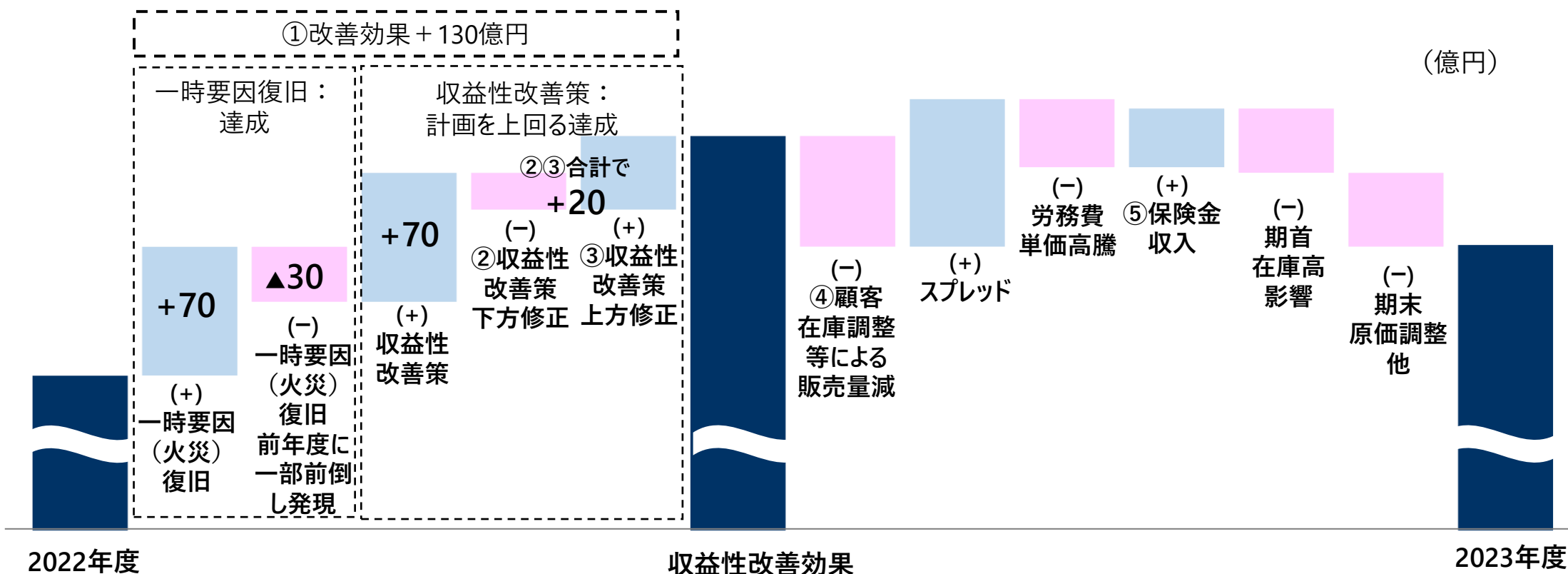
● 天然ガス価格^{*3}推移



*3 オランダTTF月間平均

◆ 収益性改善に向けた改革の結果 アラミド

■ 営業利益イメージ



- ①：一時的要因からの復旧（効果額70億円のうち一部は前期前倒し発現済）と収益性改善策（効果額：70億円）は、
②③の修正により、計画を上回る達成
- ②：特殊補修部品の納入に時間を要し、生産安定化が一部未達
- ③：天然ガス価格下落に対応した先物予約により、当初想定以上に価格安定化を達成
- ④：自動車や一部産業用途での顧客在庫調整等による販売量減少
- ⑤：前年度の火災事故に対する保険金収入計上 <22年度に計上した保険金収入（21年度の工場停電関連）とネット>

◆ 収益性改善に向けた改革の結果 ヘルスケア

■ 達成状況：順調に進捗

① 導入活動：ホルモン治療薬3剤(いずれも希少疾患対象)を導入（2023年11月）

- 導入先：Ascendis Pharma, A/S.（本社:デンマーク）
- 導入品の特徴：TransCon技術*1により長時間作用を達成したホルモン剤3剤（いずれも希少疾患対象）。主に内分泌内科・小児科で診療される疾患向けの**在宅自己注射剤**
- 帝人実績：「ソマチュリン*2」等で、同診療領域に情報提供を展開、多職種連携システム「バイタルリンク」等の**事業基盤**を活用した取組みも実施中
- 活動方針：ホルモン剤3剤の将来展開を目的に、「ソマチュリン」および3剤の情報提供を行う**希少疾患専門組織**を組成し、いち早く適切な情報提供活動に着手する予定
- 一時金 \$70MM、開発マイルストンの達成により最大\$175MM、売上に応じた販売マイルストーン並びに売上に対するロイヤルティを支払う

② 事業構造の改革：**固定費削減目標（2025年度：50億円）の半分程度を前倒しで達成**

- 創薬研究機能の水平分業化（2024年4月にAxcelead Tokyo West Partners（株）を設立）、営業部門の組織変更（2023年10月）

③ 既存製品売り上げ拡大：**計画通り達成**

*1生理活性を持たないキャリアと活性型ホルモンを架橋剤を介して結合させ、不活性体として投与することで、体内で活性型ホルモンがキャリアから徐々に放出され、ホルモンの長時間作用が達成されるAscendis社独自の技術

*2 ソマチュリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma (仏) の登録商標です

2. 2024年度業績見通し

- ✓ 通期業績見通しサマリー
- ✓ セグメント別事業利益見通し
- ✓ セグメント別事業利益増減分析

◆ 通期業績見通しサマリー（前年度対比）

■ 売上収益は増収の見込み。事業利益は前年度並みの予想

IFRS	(億円)			
	23年度実績 <概算値>	24年度見通し	差異	増減率
売上収益	10,330	10,500	+170	+1.6%
事業利益 ^{*1}	300	300	0	0.0%
営業利益	-	260	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-	100	-	-
ROE ^{*2}	-	2%	-	-
ROIC ^{*3}	2%	2%	0%	-
EBITDA ^{*4}	-	1,100	-	-

*1 事業利益は、営業利益に持分法による投資損益を加算し、非経常的な要因により発生した損益を除いて算出

*2 「親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分」にて算出

*3 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出（投下資本＝資本＋有利子負債）

*4 「事業利益＋減価償却費」にて算出

*5 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

*6 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出（*投下資本＝純資産＋有利子負債－現金及び預金）

*7 「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出

◇参考

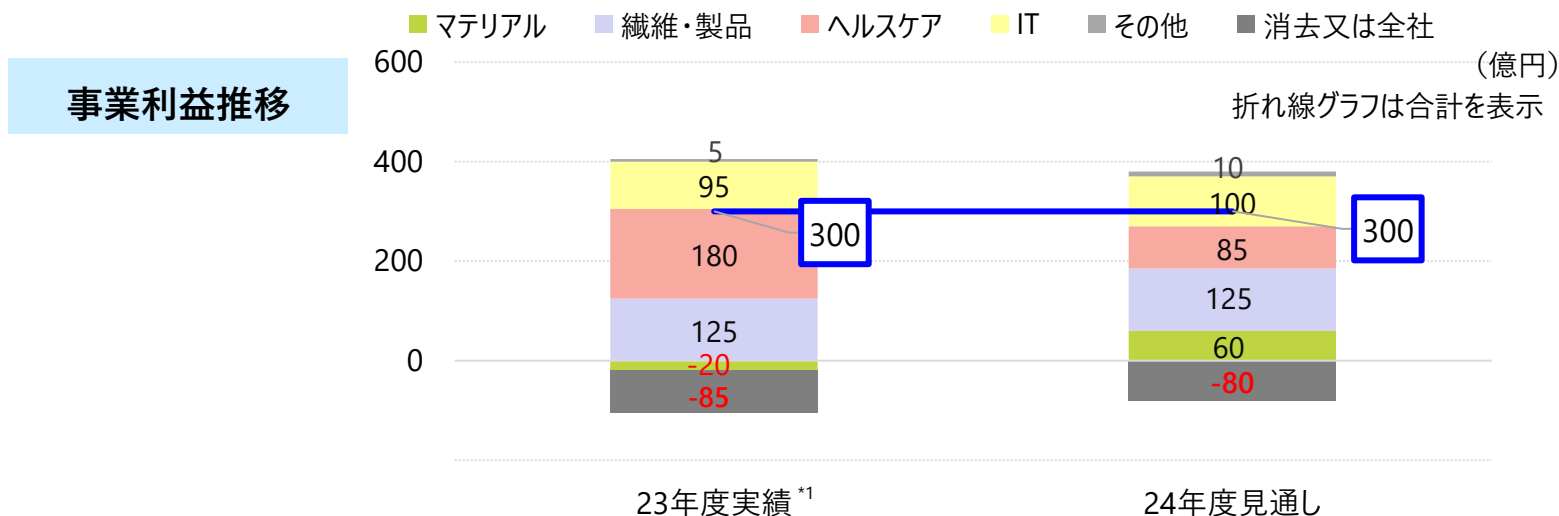
(億円)	
23年度実績 <日本基準>	
売上高	10,328
営業利益	135
経常利益	156
親会社株主に帰属する 当期純利益	106
ROE ^{*5}	2.4%
営業利益ROIC ^{*6}	1.6%
EBITDA ^{*7}	924

◇前提条件

	23年度	24年度 見通し
通期平均 円/米ドル	145	145
為替レート 円/ユーロ	157	155
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)	82	80
欧州天然ガス価格 (ユーロ/MWh)	35	35

◆ セグメント別 事業利益（前年度対比）

■ **前年度対比**：前年度の収益性改善効果の年間フル寄与と生産安定化や販売量増加を中心としたマテリアルの増益等が、ヘルスケアの薬価改定および診療報酬改定影響等による減益を相殺し、全体では前年度並みの事業利益を予想



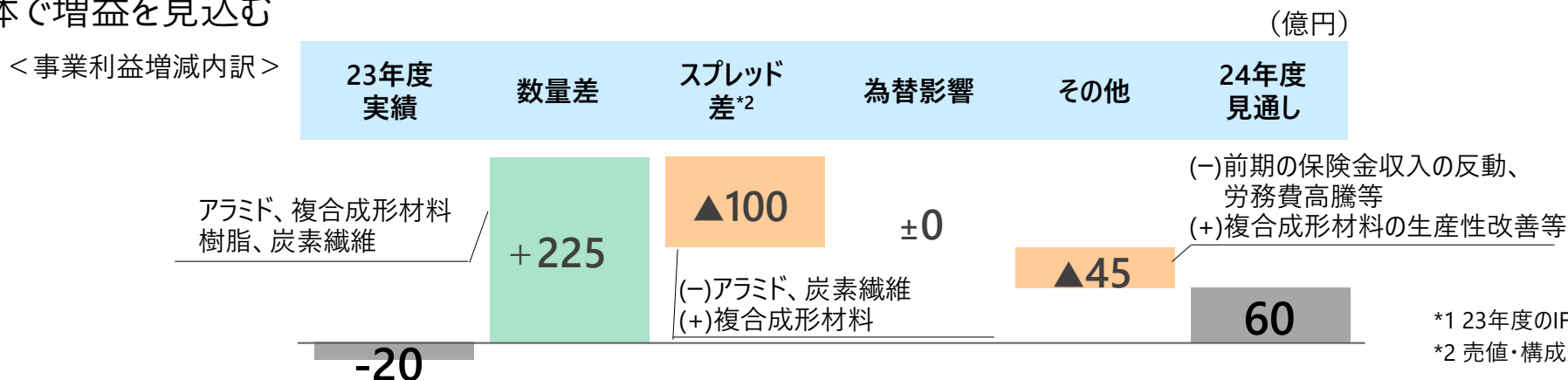
*1 23年度のIFRS実績値は概算値

セグメント	事業利益の増減（億円）・要因	
	前年度 ^{*1} 対比（売上収益 +170億円 事業利益 ±0億円）	
-マテリアル	+80	<ul style="list-style-type: none"> ・(+)収益性改善施策の効果の年間フル寄与と生産安定化（アラミド、複合成形材料）、販売量増加（すべての事業） ・(-)前年度保険金収入の反動（アラミド）、販売価格低下（アラミド）
-繊維・製品	±0	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料繊維の減速を産業資材でカバー
-ヘルスケア	▲95	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品薬価改定およびCPAP診療報酬改定影響、ライセンス対価収入の減少等
-IT	+5	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットビジネス分野、ITサービス分野とも堅調
-その他	+5	<ul style="list-style-type: none"> ・埋込医療機器の販売好調等が再生医療の事業拡大に伴う費用増他をカバー

◆事業利益セグメント分析 マテリアル（前年度対比）

◆ 売上収益：4,600億円（前年度*1 4,400億円）、事業利益：60億円（前年度*1 -20億円）

- 収益性改善効果の年間フル寄与と生産安定化、高採算新規プログラムの販売開始など複合成形材料での改善がドライバーとなり、マテリアル全体で増益を見込む



*1 23年度のIFRS実績値は概算値

*2 売値・構成差 + 原燃料単価差

サブセグメント	事業利益の方向・要因	
	前年度*1対比（売上収益 +200億円 事業利益 +80億円）	
アラミド	➡	<ul style="list-style-type: none"> • (-)前年度の保険金収入の反動 • (-)シェア奪回のための戦略的価格対応 • (-)労務費のインフレ影響 • (+)生産安定化に伴う生産・販売量増
樹脂	➡	<ul style="list-style-type: none"> • (+)市況の回復による販売量増
炭素繊維	➡	<ul style="list-style-type: none"> • (-)労務費のインフレ影響 • (+)航空機向け及びレクリエーション用途等での販売量増
複合成形材料	➡	<ul style="list-style-type: none"> • (+)収益性改善効果の年間フル寄与（販売価格改定、生産性改善など）と生産安定化 • (+)高採算新規プログラムの開始による販売量増 • (+)前年度のUAWストライキ影響の反動 • (-)労務費のインフレ影響

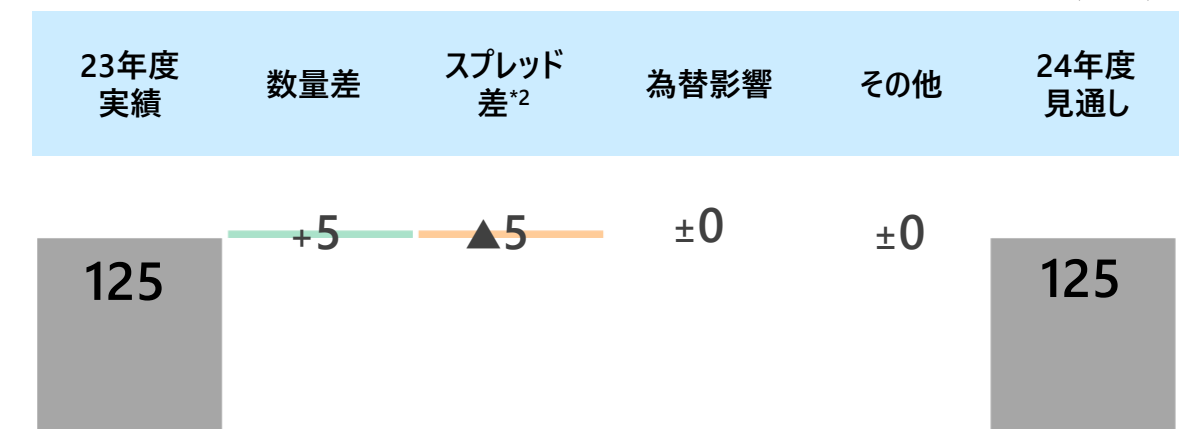
◆事業利益セグメント分析 繊維・製品（前年度対比）

◆ 売上収益：3,200億円（前年度*1 3,210億円）、事業利益：125億円（前年度*1 125億円）

- 産業資材分野での自動車向けを中心とした増販が衣料繊維分野での減速をカバーし、前年度並みの利益を見込む

< 事業利益増減内訳 >

（億円）



事業利益の方向・要因

前年度*1対比（売上収益 ▲10億円 事業利益 ±0億円）



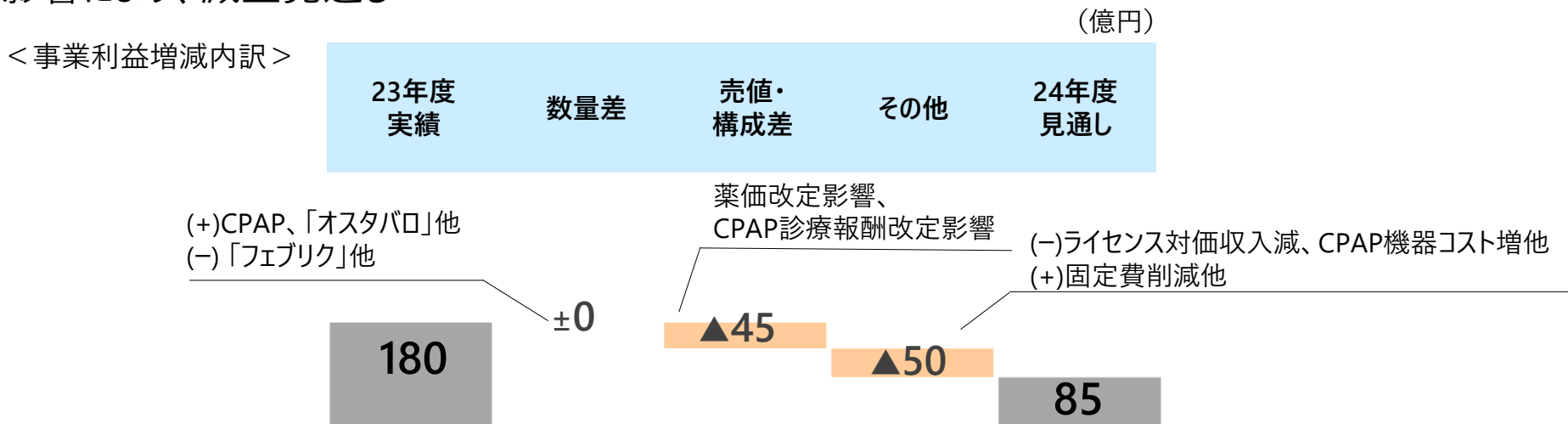
- (+)産業資材：自動車関連の需要回復による販売量増
- (-)衣料繊維：暖冬による衣料製品の流通在庫増加による販売量減

*1 23年度のIFRS実績値は概算値 *2 売値・構成差 + 原燃料単価差

◆事業利益セグメント分析 ヘルスケア（前年度対比）

◆ 売上収益：1,400億円（前年度*1 1,450億円）、事業利益：85億円（前年度*1 180億円）

- 構造改革の推進に伴う固定費削減効果を見込む一方、医薬品薬価改定・診療報酬改定およびライセンス対価収入の減少などの影響により、減益見通し



事業利益の方向・要因	
前年度*1対比（売上収益 ▲50億円 事業利益 ▲95億円）	
	<ul style="list-style-type: none"> • (-)薬価改定影響、CPAP診療報酬改定影響 • (-)ライセンス対価収入の減少 • (-)CPAP新機台投入、消耗品使用量増に伴うコスト増加 • (+)固定費削減 • (±)医薬品「オスタバロ」販売量・医療機器のレンタル台数増加、医薬品「フェブリク」販売量減少

*1 23年度のIFRS実績値は概算値

◆事業利益セグメント分析 IT、その他（前年度対比）

◆ IT

売上収益：750億円（前年度*1 720億円）、事業利益：100億円（前年度*1 95億円）

- ネットビジネス分野、ITサービス分野とも堅調に推移し、増益を見込む

事業利益の方向・要因	
前年度*1対比（売上収益 +30億円 事業利益 +5億円）	
➡	<ul style="list-style-type: none"> •(+)ネットビジネス：電子コミックサービスの伸長 •(+)ITサービス：ヘルスケアを中心に順調に推移

◆ その他

売上収益：550億円（前年度*1 550億円）、事業利益：10億円（前年度*1 5億円）

- 埋込医療機器の販売好調等が再生医療の事業拡大に伴う費用増他をカバーし、増益を見込む

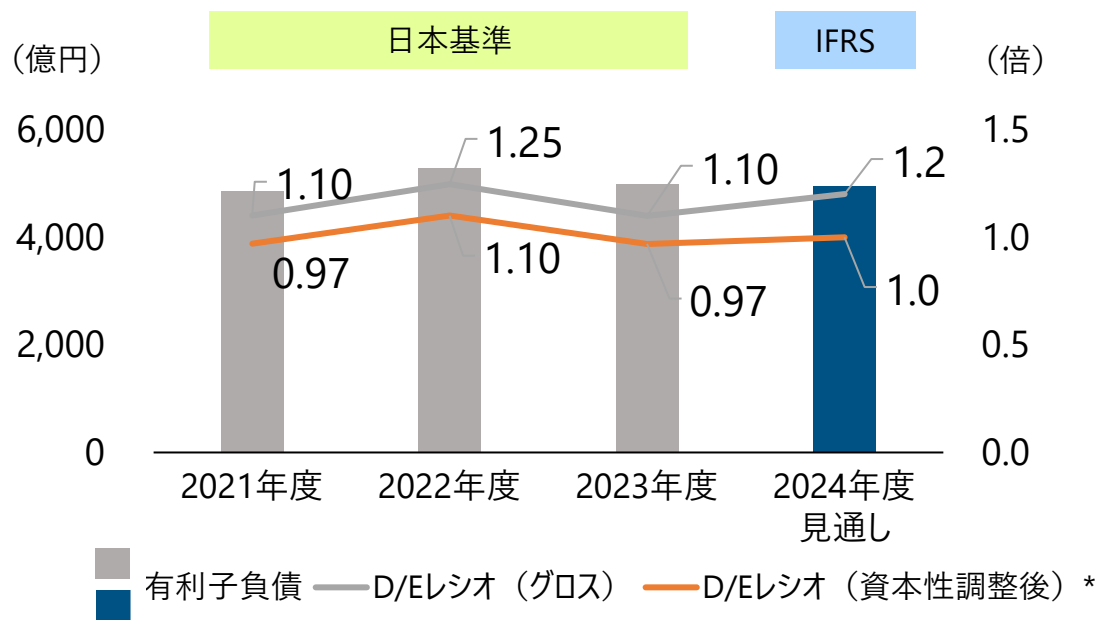
事業利益の方向・要因	
前年度*1対比（売上収益 ±0億円 事業利益 +5億円）	
➡	<ul style="list-style-type: none"> •(+)埋込医療機器の販売好調等 •(-)再生医療の拡大に伴う費用増等

*1 23年度のIFRS実績値は概算値

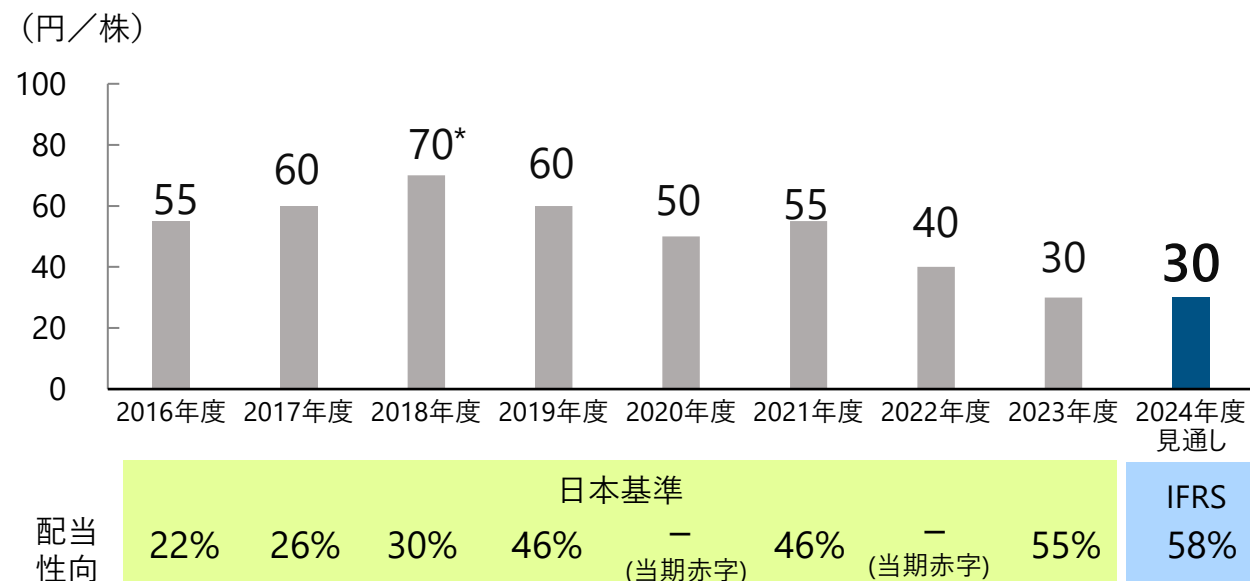
財務健全性・株主還元方針

財務健全性	<ul style="list-style-type: none"> ● 有利子負債の返済を実施し、2025年度までにD/Eレシオ0.1倍程度の改善を見込む
株主還元方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 配当性向30%を目安に、「業績に連動した配当」を実施 ● 「安定的・継続的な配当」に配慮し、1株当たり年間配当金の下限を30円と設定 ● 資産売却や不採算・非注力事業の戦略的オプション実行により原資が得られた場合には、成長投資および追加的な株主還元（自己株式取得を含む）に優先的に配分 ● 24年度の1株当たり配当金については、23年度同様に、中間15円、期末見通し15円の年間30円を予定

有利子負債・D/Eレシオ推移



一株当たり配当金推移



*劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

注）2016年10月1日をもって普通株式5株を1株に併合。配当金は株式併合の影響を踏まえて換算
*100周年記念配当10円/株を含む

3. 参考資料

◆IFRSの任意適用について

- 2024年度より、IFRS任意適用を開始
- 経常的な事業収益を示す業績管理指標として、「事業利益」を設定

<IFRS適用後の連結損益計算書>

日本基準のPL表示	IFRSのPL表示
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費
営業利益	その他の収益及び費用
金融収益及び費用	営業利益
持分法による投資損益	金融収益及び費用
その他営業外収支	持分法による投資損益
経常利益	税引前利益
特別損益	法人所得税
税金等調整前当期純利益	当期利益
法人税等	親会社の所有者に帰属する当期利益
当期純利益	非支配持分に帰属する当期利益
親会社株主に帰属する当期純利益	
非支配株主に帰属する当期純利益	

- **事業利益（当社任意の項目）**
営業利益に持分法による投資損益を加算し、非経常的な要因により発生した損益を除いて算出

日本基準の営業利益
+ IFRS適用による会計基準差
+ 金融収支除く営業外損益
+ 特別損益 ^{*1}
IFRSの営業利益
+ 持分法による投資損益
- 非経常的な要因による損益
事業利益

*1投資有価証券売却損益・評価損益除く

◆IFRSの任意適用について

■ IFRS適用による主な影響

● IFRS適用による主な処理の変更（連結財務諸表）

項目	日本基準	IFRS
のれん	・定額償却	・非償却
固定資産の減損	・減損の兆候がある場合、割引前将来キャッシュ・フローと帳簿価額を比較して減損の有無を判定 ・減損が認識された場合には、帳簿価額を回収可能価額まで引き下げて減損損失を計上	・減損の兆候がある場合、帳簿価額と回収可能価額を比較し、回収可能価額が帳簿価額を下回る場合には、その差額を減損損失で処理
研究開発費	・発生時に一時費用として処理	・研究費：発生時に費用処理 ・開発費：一定要件を満たすものは資産として計上
政策保有株式の売却損益	・売却損益をPLに計上	・売却損益をPLに計上せず、「その他包括利益」に計上
退職給付費用	・数理計算上の差異を費用として処理	・数理計算上の差異を費用処理せず、「その他包括利益」に計上
オペレーティングリース取引	・資産・負債として未認識で、支払賃借料をPLに計上	・資産・負債として計上し、償却費と支払利息をPLに計上

◆前提 [当社の主要ターゲット市場の動向（2023年度～2024年度）]

需要は全般的に堅調の見通し

事業		市場	主な地域	2023年度実績	2024年度見通し
マテリアル	アラミド	自動車	欧州、米国	•年度前半は欧州での高級車/EV向けタイヤ需要は堅調も、年度後半にサプライチェーン上での在庫調整の影響あり	•欧州での高級車/EV向けタイヤ需要は引き続き弱含み
		産業資材	欧州、米国 中国	•全般的には堅調も光ファイバー用途で需要が低迷	•光ファイバー用途で需要の低迷が継続するも、全般的には引き続き需要は堅調に推移
		防弾・防護	欧州、米国	•防弾・防護とも需要は堅調	•引き続き需要は堅調に推移
	樹脂	電気電子	中国、アジア	•中国の景気回復遅延等により、低調な需要継続	•低調な需要が継続
		自動車	日本、中国 アジア	•需要は堅調	•引き続き需要は堅調に推移
	炭素繊維	航空機	欧州、米国	•旅客機需要は好調（但し、サプライチェーン上の調達制約により一時的に需要は小幅な伸びにとどまる）	•引き続き需要は堅調に推移（サプライチェーン上の調達制約は解消に向かう）
	複合成形	自動車	米国	•米国の自動車需要は堅調（但し、一部車種で需要減）	•引き続き需要は堅調に推移
繊維・製品	衣料繊維	欧州、米国 中国、日本	•米国は堅調維持、中国と欧州は景気減速 •国内消費は好調	•欧米・中国ともに市況は弱含み •国内は一部在庫調整の影響あるも、堅調を維持	
	産業資材	日本、中国	•自動車関連はサプライチェーンでの在庫調整が継続	•在庫調整局面は徐々に解消の見通し	

◆前提 [当社の主要ターゲット市場の動向（2023年度～2024年度）]

事業	市場	主な地域	2023年度実績	2024年度見通し
ヘルスケア	医薬品	日本	<ul style="list-style-type: none"> 痛風・高尿酸血症患者数は拡大基調だが、後発品参入により市場規模（薬価売上）は縮小 DPP4阻害薬市場は微減も帝人のシェアは維持、厳しい競争環境は継続 オスタバロは2023年12月から投薬期間制限が解除。病院を中心に採用軒数拡大、プロモーション継続強化 	<ul style="list-style-type: none"> 痛風・高尿酸血症患者数は24年度も拡大するが、後発品参入や薬価改定による影響により市場規模（薬価売上）は縮小 DPP4阻害薬市場自体が漸減するトレンドが継続 オスタバロは病院を中心に採用軒数が拡大、最重要領域のひとつとして、プロモーションを強化
	医療機器		<ul style="list-style-type: none"> 在宅酸素療法（HOT）はCOVID-19によるHOT導入は減少するも市場は横ばい 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅酸素療法（HOT）市場は微増
			<ul style="list-style-type: none"> 在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）市場は拡大継続、検査数も緩やかに回復 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）市場は拡大継続、検査数も増加
IT	電子コミック	日本	<ul style="list-style-type: none"> 電子コミックの需要は堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き堅調に推移

◆前提 [損益影響要因]

◇為替・市況燃料価格

		22年度	23年度
PL換算レート	円/米ドル	135	145
	円/ユーロ	141	157
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		92	82
欧州天然ガス価格 (ユーロ/MWh)		116	35

◇前提条件

		23年度	24年度 見通し
通期平均	円/米ドル	145	145
為替レート	円/ユーロ	157	155
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		82	80
欧州天然ガス価格 (ユーロ/MWh)		35	35

◇定常的な損益影響要因

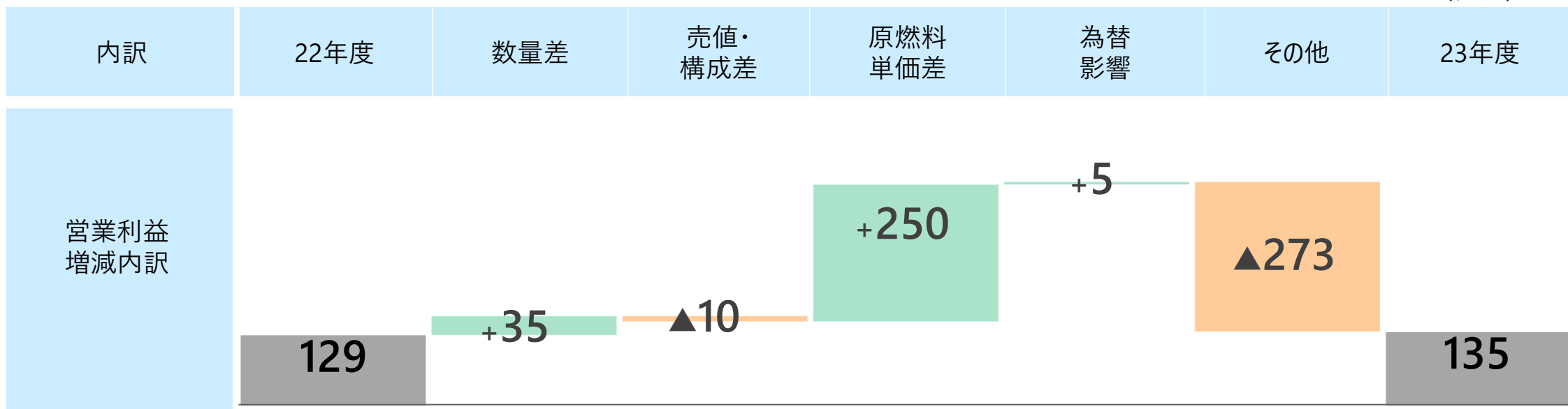
セグメント	主な特徴
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> アラミドの大型定修は3年に一度 (次回は2025年度1Qを予定) 樹脂は毎年2Q、3Qに定修
繊維・製品	<ul style="list-style-type: none"> 衣料関係は2Q～3Qが秋冬物・4Qが春物シーズン
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 4Qに経費集中傾向
IT	<ul style="list-style-type: none"> 2Q、4Qはシステム検収時期で納入増

◆2023年度実績 営業利益増減（連結合計） [前年度対比]

(億円)

	22年度	23年度	差異	増減率
売上高	10,188	10,328	+140	+1.4%
EBITDA	878	924	+46	+5.3%
減価償却費	749	789	+40	+5.3%
営業利益	129	135	+7	+5.3%
営業利益ROIC	1.6%	1.6%	+0.0%	-

(億円)



◆2023年度実績 セグメント別まとめ [前年度対比]

(億円)

	合計				マテリアル				繊維・製品			
	22年度	23年度	差異	増減率	22年度*	23年度	差異	増減率	22年度	23年度	差異	増減率
売上高	10,188	10,328	+140	+1.4%	4,387	4,397	+10	+0.2%	3,221	3,215	-6	-0.2%
EBITDA	878	924	+46	+5.3%	147	321	+174	+117.9%	166	197	+31	+18.4%
減価償却費	749	789	+40	+5.3%	360	382	+23	+6.3%	69	75	+6	+8.7%
営業利益	129	135	+7	+5.3%	-213	-62	+151	-	97	121	+25	+25.4%
営業利益ROIC	1.6%	1.6%	+0.0%	-	-6%	-2%	+4%	-	7%	8%	+1%	-

	ヘルスケア				IT				その他			
	22年度*	23年度	差異	増減率	22年度	23年度	差異	増減率	22年度*	23年度	差異	増減率
売上高	1,506	1,447	-59	-3.9%	580	721	+140	+24.2%	494	548	+55	+11.1%
EBITDA	510	333	-178	-34.8%	88	106	+18	+20.0%	30	46	+16	+51.2%
減価償却費	259	260	+1	+0.3%	7	10	+3	+45.8%	46	53	+8	+16.9%
営業利益	252	73	-178	-70.9%	81	95	+14	+17.7%	-15	-8	+8	-
営業利益ROIC	14%	4%	-10%	-	53%	66%	+13%	-	-	-	-	-

*2023年度より新事業組織について、「マテリアル」、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2022年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示

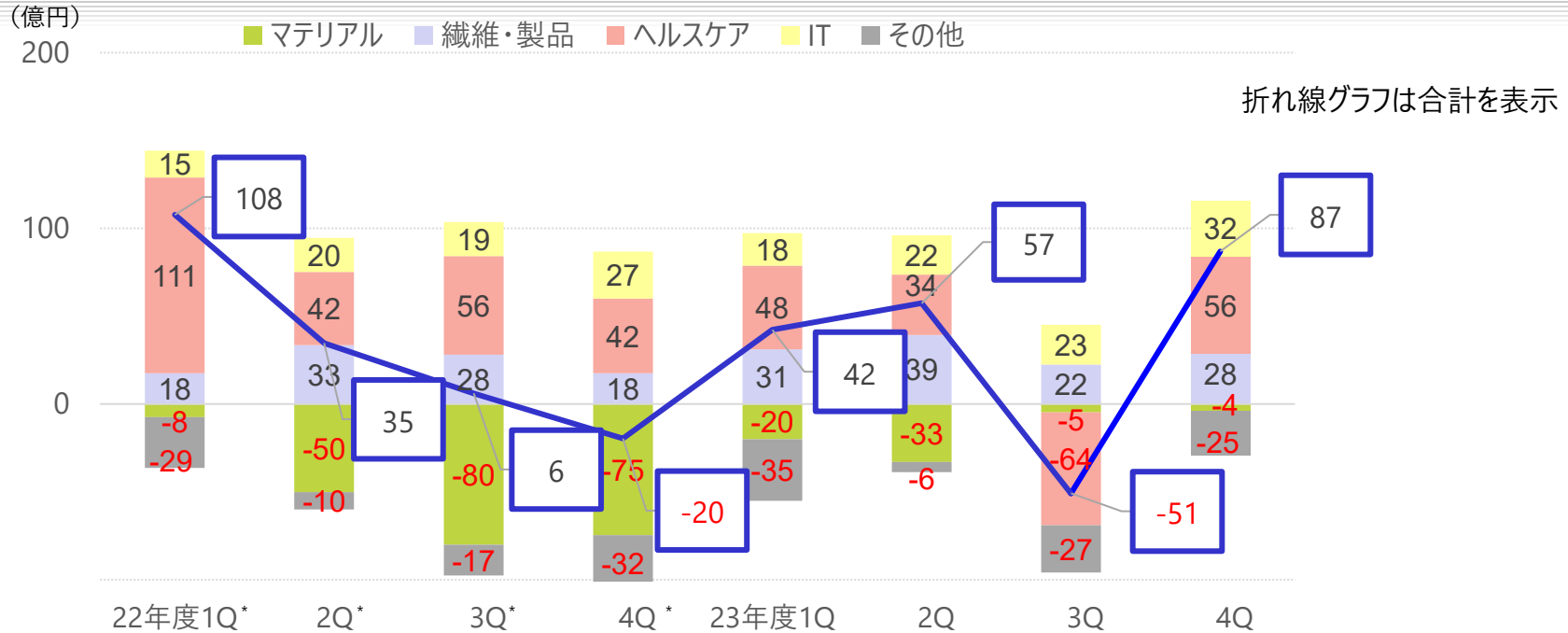
◆2023年度実績 セグメント別四半期推移 [前年度対比、前年同期対比、前四半期対比]

	22年度*					23年度					(億円)		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	差異 23/年間 -22/年間	差異 23/4Q -22/4Q	差異 23/4Q -23/3Q
売上高													
高機能材料	665	747	672	665	2,748	608	653	652	715	2,628	-120	+50	+63
複合成形材料	375	440	416	408	1,638	450	445	406	469	1,769	+130	+61	+63
マテリアル 計	1,039	1,186	1,088	1,073	4,387	1,058	1,097	1,058	1,184	4,397	+10	+111	+126
繊維・製品	737	849	822	814	3,221	756	830	803	826	3,215	-6	+13	+23
ヘルスケア	431	348	361	366	1,506	358	349	364	376	1,447	-59	+10	+12
IT	129	144	143	164	580	162	181	174	204	721	+140	+40	+29
その他	102	139	132	120	494	115	160	132	141	548	+55	+21	+9
合計	2,438	2,666	2,546	2,537	10,188	2,448	2,617	2,531	2,732	10,328	+140	+195	+201
営業利益													
マテリアル	-8	-50	-80	-75	-213	-20	-33	-5	-4	-62	+151	+71	+1
繊維・製品	18	33	28	18	97	31	39	22	28	121	+25	+11	+6
ヘルスケア	111	42	56	42	252	48	34	-64	56	73	-178	+13	+120
IT	15	20	19	27	81	18	22	23	32	95	+14	+5	+9
その他	-12	5	1	-9	-15	-11	5	-7	5	-8	+8	+14	+12
消去又は全社	-17	-15	-18	-22	-73	-24	-11	-20	-30	-85	-13	-8	-10
合計	108	35	6	-20	129	42	57	-51	87	135	+7	+107	+138

*2023年度より新事業組織について、「マテリアル」、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。
それに伴い2022年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示

◆2023年度実績 セグメント別営業利益 [四半期推移]

営業利益推移



営業利益変動額（億円）、要因（2023年3Q→2023年4Q）

全体	+138	ヘルスケアの導入一時金影響の反動等により増益
- マテリアル	+1	(+) 複合成形材料の「収益性改善に向けた改革」の施策効果 (-) アラミドの保険金収入減少
- 繊維・製品	+6	衣料繊維での販売好調（季節要因）
- ヘルスケア	+120	医薬品導入一時金影響の反動、ライセンス対価収入等
- IT	+9	電子コミックサービス販売好調継続

*2023年度より新事業組織について、「マテリアル」、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2022年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示

◆2023年度実績 連結損益計算書 [四半期推移]

(億円)

	22年度				23年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,438	2,666	2,546	2,537	2,448	2,617	2,531	2,732
売上原価	1,749	2,040	1,968	1,949	1,798	1,950	1,851	1,972
売上総利益	689	626	578	588	651	667	680	760
販管費	581	592	572	607	609	609	731	673
営業利益	108	35	6	-20	42	57	-51	87
営業外損益	35	22	-31	-64	8	-7	27	-8
(内 持分法投資損益)	12	13	13	-50	-5	8	74	-4
経常利益	143	57	-25	-84	50	50	-24	79
特別損益	2	-4	-81	-23	23	-36	44	98
税金等調整前四半期純利益	145	53	-106	-106	73	15	20	177
法人税等	67	43	39	-6	48	32	-25	93
非支配株主に帰属する 四半期純利益	5	7	0	6	6	7	5	13
親会社株主に帰属する 四半期純利益	73	3	-146	-106	19	-24	40	71

◆2023年度実績 連結貸借対照表 [四半期推移]

(億円)

	22年度				23年度			
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
資産								
流動資産	6,030	6,331	6,088	6,133	6,542	6,706	6,526	6,235
固定資産	6,623	6,720	6,302	6,291	6,486	6,500	6,317	6,275
合計	12,653	13,051	12,390	12,424	13,028	13,207	12,843	12,510
負債・純資産								
負債	7,854	8,222	7,863	7,913	8,315	8,484	8,179	7,691
(内 有利子負債)	5,178	5,447	5,236	5,294	5,764	5,698	5,721	4,989
純資産	4,799	4,829	4,527	4,511	4,713	4,723	4,664	4,819
合計	12,653	13,051	12,390	12,424	13,028	13,207	12,843	12,510

◆2024年度業績見通し セグメント別まとめ [前年度対比]

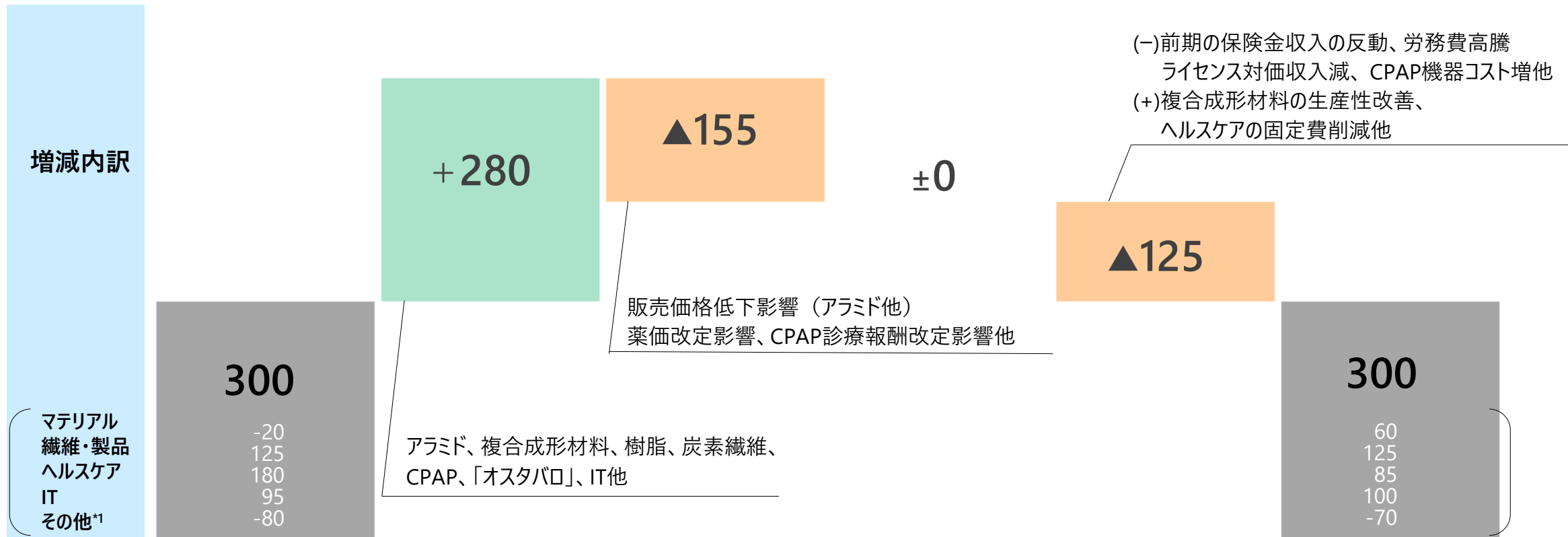
(億円)

IFRS	合計			マテリアル			繊維・製品		
	23年度 実績 <概算値>	24年度 見通し	差異	23年度 実績 <概算値>	24年度 見通し	差異	23年度 実績 <概算値>	24年度 見通し	差異
売上収益	10,330	10,500	+170	4,400	4,600	+200	3,210	3,200	-10
EBITDA	-	1,100	-	-	410	-	-	195	-
減価償却費	-	800	-	-	350	-	-	70	-
事業利益	300	300	0	-20	60	+80	125	125	0
ROIC	2%	2%	0%	-0%	1%	+1%	6%	6%	0%
	ヘルスケア			IT			その他		
	23年度 実績 <概算値>	24年度 見通し	差異	23年度 実績 <概算値>	24年度 見通し	差異	23年度 実績 <概算値>	24年度 見通し	差異
売上収益	1,450	1,400	-50	720	750	+30	550	550	0
EBITDA	-	375	-	-	115	-	-	60	-
減価償却費	-	290	-	-	15	-	-	50	-
事業利益	180	85	-95	95	100	+5	5	10	+5
ROIC	7%	3%	-4%	14%	13%	-1%	-	-	-

◆2024年度業績見通し 事業利益増減要因 [前年度対比]

(億円)

内訳	23年度実績 ^{*2}	数量差	スプレッド差 ^{*3}	為替影響	その他	24年度見通し
----	----------------------	-----	----------------------	------	-----	---------



*1 その他は「その他」及び「消去又は全社」の合計としている

*2 23年度のIFRS実績値は概算値

*3 売値・構成差 + 原燃料単価差

◆ 主要経営指標推移

	日本基準					IFRS
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	実績	実績	実績	実績	実績	見通し
ROE ^{*1}	6.3%	-1.7%	5.5%	-4.1%	2.4%	2%
営業利益ROIC ^{*2}	8.7%	8.6%	5.5%	1.6%	1.6%	-
税後事業利益ROIC ^{*3}	-	-	-	-	-	2%
EBITDA ^{*4} (億円)	1,072	1,068	1,130	878	924	1,100
1株当たり当期純利益 ^{*5} (円)	131.6	-34.7	120.6	-92.0	55.1	51.9
1株当たり配当金 (円)	60	50	55	40	30	30
フリー・キャッシュ・フロー (億円)	263	281	-1,087	27	234	350
設備投資 (億円)	686	603	2,008	625	669	700
減価償却費 (億円)	510	518	688	749	789	800
研究開発費 (億円)	345	327	333	319	426	310
総資産 (億円)	10,042	10,411	12,076	12,424	12,510	12,100
有利子負債 (億円)	3,819	3,800	4,852	5,294	4,989	4,950
D/Eレシオ ^{*6}	0.97	0.94	1.10	1.25	1.10	1.2
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*7}	-	-	0.97	1.10	0.97	1.0
自己資本比率 ^{*8}	39.3%	39.0%	36.4%	34.2%	36.3%	35%

*1 日本基準：「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

IFRS：「親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分」にて算出

*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

*3 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (投下資本 = 資本 + 有利子負債)

*4 日本基準：「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

IFRS：「事業利益 + 減価償却費」にて算出

*5 IFRS：基本的1株当たり当期利益

*6 日本基準：「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

IFRS：「有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分」にて算出 (グロス表示)

*7 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*8 IFRS：親会社所有者帰属持分比率

◆主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	22年度					23年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
糖尿病治療剤四剤合計		69	62	67	50	248	63	58	61	47	228
ネシーナ®	2型糖尿病治療剤	34	31	33	25	122	31	28	29	23	111
イニシク®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	20	18	20	15	74	19	17	18	15	69
リオベル®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	10	9	9	6	34	8	7	8	5	28
ザファテック®	2型糖尿病治療剤	5	5	4	3	17	5	6	6	3	20
フェブリク®	痛風・高尿酸血症治療剤	87	17	23	18	145	20	21	20	12	74
ボナロン®*1	骨粗鬆症治療剤	18	18	18	15	69	16	16	17	13	63
ソマチュリン®*2	先端巨大症・下垂体性巨人症、甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍、膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤	14	14	15	14	57	15	15	17	14	61
ベニロン®	重症感染症治療剤	10	11	12	11	44	14	14	16	11	55
ロコア®	経皮吸収型鎮痛消炎剤	5	5	5	4	19	5	4	5	4	18
ゼオマイン®*3	上下肢痙縮治療剤	4	4	5	5	18	5	5	6	5	20
ムコソルバン®	去痰剤	4	4	5	4	18	4	5	5	4	19

*1 ボナロン®/Bonalon® はNV Organon(蘭)の登録商標です *2 ソマチュリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma (仏)の登録商標です

*3 ゼオマイン®/Xeomin® は、Merz Pharma GmbH & Co, KGaA (独)の登録商標です

◆非財務情報 ESG外部評価

GPIFの5つのESG指数全ての構成銘柄に採用されています

FTSE Blossom
Japan Index2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index2024 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

(注) MSCIインデックスへの帝人株式会社の組み入れ及び帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCI及びMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

MSCI ESG格付評価において最上位の「AAA」を獲得しました

MSCI
ESG RATINGSCCC B BB BBB A AA **AAA**

日経SDGs経営調査で非常に高い評価を得ています

NIKKEI
SDGs

経営調査 2023 ★★★★★

・ 4分野全てにおいて「S以上」の高評価

SRI（社会的責任投資）インデックスに組み入れられています

Member of

Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



ESGへの取り組みが優れている企業として、2つの国内プログラムに選定されています

健康経営推進

2024
健康経営優良法人
Health and productivityスポーツエールカンパニー
(シルバー認定*)SPORTS
YELL
COMPANY
2024* 認定回数7回～9回
の企業の呼称

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions